

事業名					
事業区分 (該当する事業に ☒)	☐ 民間団体提案型事業 ☐ 施策推進公募型事業 テーマⅠ:つながる「居場所」づくり事業 ☐ 施策推進公募型事業 テーマⅡ:地域における 18 歳以上のヤングケアラー支援事業 ☐ 施策推進公募型事業 テーマⅢ:障がいのある方の文化芸術アーティスト挑戦創出プロジェクト ☐ 施策推進公募型事業 テーマⅣ:地域における子ども食堂支援機関ネットワークモデル事業 ☐ 施策推進公募型事業 テーマⅤ:ひきこもり支援に関する居場所等の社会資源の創出モデル事業 ☐ 施策推進公募型事業 テーマⅥ:地域における多職種連携による相談支援モデルの開発				
事業実施期間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日				
事業の主な実施場所	所在地				
	名 称				
事業の参加予定人数 (※延べ人数)	合 計	人	左記人数 内訳	①自団体役職員・ 自団体職員/スタッフ・自団体会員	人
				②自団体以外のボランティア	人
				③上記以外	人
事業にかかる 現状と課題	(申請する事業について、制度や施策などを踏まえたうえで、どのような現状(実態)にあるのか、さらに、その課題は何かを記入してください。)				
事業の対象者等	(この事業の対象者を記入してください。)				
事業目的および 事業概要	(どのような目的でどのような事業をするのか、簡潔にまとめて記入してください。)				
	※ 本事業は 以下に該当するため申請します。(該当する ☒ 。複数可) ☐ 先駆的、先導的及び発展性のある事業 ☐ 制度の谷間であるため、支援が行き届いていない人を支援する事業 ☐ 制度が十分に機能していないため、支援が行き届いていない人を支援する事業				

申請事業内容ロジックモデル

事業概要について、1 プロセス～5 助成期間終了後の活動まで、囲み内内容を踏まえ記入してください。
記入にあたり「記入上の注意事項等（申請事業内容ロジックモデル）」を参照してください。

1 プロセス

- ・事業に必要な人材確保や情報収集の方法
- ・地域や他団体との連携・協働の予定事業。また連携の有効性、実効性
実体性があり実施の可能性が高い事業か。計画の修復性があるか
- ・費用対効果が計れるか



2 アウトプット（結果の整理）

- ・何が産み出されたか
- ・何を提供できたか



3 アウトカム（成果）

- ・個人・団体・地域が得られる成果
- ・短期、中期、長期ごとの成果



4 インパクト（波及効果）

・成果を府民、地域、社会へ還元できるか



5 助成期間終了後の活動

・発展していく事業か。助成事業終了後の継続

申請事業スケジュール（「事業内容」について、スケジュールを四半期ごと記入してください。）

令和7年 4～6月	
7～9月	
10～12 月	
令和8年 1～3月	